

【2023 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
共生学		選択	1	1.2	後期 (隔週)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
増田 洋介	B310	yosuke.masuda	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>この社会には多様な人々によって成り立っており、それは社会の「当たり前」の姿である。しかし一方で、世の中には多様性を否定するような意見や発言が少なくないのも事実である。また、今般の新型コロナウイルス禍は、社会における人々の「当たり前」のつながりに分断を生じさせた。こうした現状において、いかにして「共生」を実現するか、皆で思索し展望することを目的とする。</p> <p><概要>この授業では、「共生」に対立する概念として「孤独・孤立」「差別・排除」「優生思想」をテーマに据え、具体的な実例をもとに社会課題を認識し、解決に向けた方策について考察できるよう授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	授業中やリアクションペーパー、オフィスアワーを活用し、「共生」に関する理解や考察を深めてほしい。また、日頃からニュースや社会動向にアンテナを張り、それらを巡る賛否両論の意見に触れてほしい。				
教科書	教科書は指定しない				
参考書	指定参考書なし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会において「共生」が阻まれている実態やその根底にある問題について理解し、具体的に説明できる。			HSU(1)、(2)、(3)	
②	社会において「共生」を実現するために必要な工夫や取り組みについて、自分の考えを説明できる。			HSU(1)、(3)、(5)、(6)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[イントロダクション] 「共生」とは何か、「共生」がなぜ大切なのかについて考える。	講義	授業内容を復習し、次回の授業に備える。	3	
2	[孤独・孤立について①] 新型コロナウイルス禍と孤独・孤立との関係について考える。	講義		3	
3	[孤独・孤立について②] 社会的課題としての孤独・孤立対策について考える。	講義・討論		5	
4	[差別・排除について①] 地域社会における差別・排除について考える。	講義		3	
5	[差別・排除について②] 差別・排除を乗り越えるための取り組みについて考える。	講義・討論		5	
6	[当事者の話を聞く] 障害のある人・ない人が共に生きる地域社会づくりに取り組む一般社団法人埼玉障害者自立生活協会理事の八木井雄一さんをゲストに招き、話を伺う。	講義		3	
7	[優生思想について] 人間の価値に優劣をつけることの問題について考える。	講義・討論		5	
8	[まとめ] これまでの授業を踏まえ、いかにして「共生」を実現するかについて考える。	講義		3	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2023 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	0	0	60	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	学期末にレポートの提出を求め、評価する。レポートのテーマは講義中に提示する。問いを正しく捉えて自分の意見を述べられているか、適切な文章表現・文章構成で書かれているか等のポイントを踏まえ、評価を行う。				Teams を利用して個別にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業後に Teams 上でリアクションペーパーの提出を求め、授業内容への気づき、疑問、取り組み姿勢等を確認し、評価する。				次回授業時にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験							
実践的授業の内容	対人援助職としての経験を踏まえ、受講生がイメージしやすい具体例や実践的な情報（個人、団体等の特定ができないよう加工）を交えながら授業を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 受講の際には、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって、シラバスの変更が行われることがある。 						